



TITLE:

海外時報

AUTHOR(S):

CITATION:

海外時報. 天界 1937, 17(193): 273-273

ISSUE DATE:

1937-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167459>

RIGHT:



海外時報



英國の夏期時刻制度

英國では1916年以來、“日光節約”の目的を以つて、所謂サンマ・タイム Summer Time を實行し、つまり、夏の半年だけはグリニチ天文臺の標準時刻よりも1時間だけ早い時刻を使つてゐるが、之れについては、1925年に夏期時刻法案 Summer Time Act といふ法律が發布された。之れによると、英國では毎年、

“4月の第3土曜日の翌日(日曜日)の2時(グリニチ平均時)以後、時計の針を1時間だけ進めること；但し若し其の日曜日がイースター祭日に當る場合には、第2土曜日の翌日に上記の變更を行ふ。而して、10月の第1土曜日の翌日(日曜日)の2時(グリニチ平均時)に此の夏期時刻を終るものとする”

と定められた。此の法令が出るまでは、英國の夏期時刻の始め終りの日は年々一定では無かつたので、只それは英國航海曆第921頁に載つてゐる。

今1937年は4月18日2時(萬國時)に夏期時刻が始まり、10月3日2時(萬國時)に終る。

夏期時刻なるものは、全く一般の俗社會のものであつて、天文や氣象や航海等の種々の學術上及び技術上には用ゐられない。従つて天文觀測上にも之れは用ゐられるものではない。

ニユー・ヘブンの素人天文の會

之の會は本年1月9日に、キムボール氏の宅で誕生した。會員は僅かに14名ではあつたが、第1回の例會が2月20日に、ニール天文臺の講議室で開かれた。出席者22名で入會希望者もあつた由。今後の例會も之の講議室を借りる筈で、會員は望遠鏡の製作、掩蔽や流星の觀測等を分擔する由である。